

新型コロナウイルス感染症対策の主な事業

目 次

1. 感染予防対策事業	474
2. 生活支援臨時給付事業	474
3. 地域経済活性化事業	474
4. 特別定額給付事業	475
5. 臨時特別給付事業	475
6. 就学支援臨時給付事業	475
7. 証明書郵便請求奨励事業	475
8. 広報費	476
9. 地方創生臨時交付金事業(総務課)	476
10. 地方創生臨時交付金事業(管財・契約課)	476
11. 地方創生臨時交付金事業(企画課)	476
12. 地方創生臨時交付金事業(保健課)	476
13. 地方創生臨時交付金事業(子ども家庭課)	478
14. 学童クラブ等感染予防対策事業	478
15. 教育・保育施設等感染予防対策事業	478
16. 学校感染予防対策事業	478
17. GIGA スクール推進事業	478
18. 学校給食臨時休業対策事業	478
19. ひとり親世帯臨時特別給付事業	479
20. 高度無線環境整備事業	479
21. PCR検査センター事業	479
22. 新型コロナウイルスワクチン接種事業	479
23. 地方創生臨時交付金事業(介護福祉課)	479
24. 生活困窮者自立支援事業	479
25. 地域支えあい・地域づくり事業費	480

新型コロナウイルス感染症対策の主な事業

1. 感染予防対策事業 (P. 70~71) 13,840千円

・感染予防対策物品の購入

市内の公共施設において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する目的として、感染防止用物品等を購入しました。

主な購入物品

ハンドソープ、消毒液、マスク、非接触型体温計、飛沫感染防止用アクリルパネル

2. 生活支援臨時給付事業 (P. 71) 13,932千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う小中学校等の臨時休校や企業活動の停滞の影響を受けているひとり親世帯を支援するため児童扶養手当を受給する世帯に対して生活支援臨時給付金を支給しました。

給付額

第1弾 1世帯当たり1万円 638世帯 6,380千円

第2弾 児童1人目1万円2人目以降1人5,000円 582世帯 7,330千円

3. 地域経済活性化事業 (P. 71) 851,987千円

・情報発信事業

事業者による販売促進の取組や、感染防止対策を広報誌や地域情報誌で情報発信の他、テイクアウト・デリバリーガイドを作成し、飲食店の支援を行いました。

参加店舗 48店、493件の利用

・クラウドファンディング事業

商工会議所と共同でクラウドファンディング事業を実施しました。

参加店舗 104店舗 寄附総額 8,743,900円

・テイクアウト商品の販売促進支援事業

市役所及び市内事業所へのテイクアウト用夕食の出張販売支援を行いました。

参加店舗 15店 市役所及び市内6事業所で出張販売を実施

販売食数 1,994食 売上 1,385,439円

・相談・申請支援事業

行政書士・社会保険労務士・中小企業診断士等による総合相談会を実施しました。

開催回数 5回 19件

・金融対策事業の実施

利子補給 54件 1,476,036円

信用保証料 14件 1,732,953円

中小企業振興融資預託金 37,500千円

・小規模事業者営業継続支援金の支給

新型コロナウイルスの影響で売上が一定以上下がった小規模事業者に対して営業を継続するための支援金を支給しました。

第1弾 1事業者3万円 943事業者 28,290千円

第2弾 前年収入に応じて1事業者20~30万円 925事業者 265,750千円

・商店街活力再生事業

新型コロナウイルス感染症対策の独自の取組を行う団体に対して補助金を交付しました。

申請団体 7団体 補助金 1,710千円

・ **えにわんチケット発行事業**

市民1人1,000円×5枚（地元小規模事業者で使用する場合は1枚1,200円）の恵庭市オリジナル商品券を発行し、市民の生活支援、市内経済活性化を図りました。

登録429店舗 商品券使用額373,598,800円

引換割合95.08% 利用割合（引換枚数ベース）99.18%

・ **新生活様式推進事業**

テイクアウト代行推進事業を行う商工会議所へ補助を行いました。

登録27店舗 利用464件（うちタクシー利用148件）

・ **飲食店営業継続支援金事業**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年末年始の忘新年会シーズンに影響を受けている飲食店を対象に支援金を給付しました。

1店舗当たり150千円 199店舗 支援金29,850千円

・ **営業継続支援金事業**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年末年始シーズンに影響を受けている飲食店以外の小規模店舗を対象に支援金を給付しました。

1店舗当たり100千円 764店舗 支援金76,400千円

※クラウドファンディング事業、えにわんチケット発行事業について、一部令和3年度予算へ明許繰越 3,840千円

4. 特別定額給付事業 (P.72)

7,028,371千円

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うものとして、給付対象者1人につき10万円を支給しました。

対象者 基準日(令和2年4月27日)において、住民基本台帳に記録されているもの。

受給権者は、その者の属する世帯の世帯主。

対象世帯 33,986 実績 33,815 (99.5%) 人数69,837人 給付額6,983,700千円

5. 臨時特別給付事業 (P.72~73)

93,866千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため児童手当を受給する世帯に対し臨時特別給付金を支給しました。

給付額 児童1人1万円 5,382世帯90,300千円

6. 就学支援臨時給付事業 (P.73)

10,310千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う小中学校等の臨時休校や企業活動の停滞の影響を受けている就学援助対象世帯を支援するため就学援助認定者に対して就学支援臨時給付金を支給しました。

給付額 児童1人1万円 1,031人10,310千円

7. 証明書郵便請求奨励事業 (P.73)

50千円

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低下させるため、市内に住民票を置く個人が証明書を郵便請求した場合には、証明手数料の免除に加えて送料も市が負担することで、証明書の郵便請求を奨励しました。

実施期間 5/7~5/31

郵送による証明書発行数104件 130枚

8. 広報費 (P. 73) 246千円

・臨時広報の配布

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、対策等情報の市民周知を細やかに行うため5月及び11月に臨時広報を発行しました。

9. 地方創生臨時交付金事業（総務課）(P. 73) 919千円

・Web会議システム導入事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、非接触による会議の開催・出席に対応するため、Web会議システムの導入及び必要な環境整備を実施しました。

整備内容 Webカメラ、スピーカーフォン、LAN配線作業委託など

利用実績 Web会議実施回数 277回

10. 地方創生臨時交付金事業（管財・契約課）(P. 73) 95,259千円

・指定管理施設感染拡大防止対応支援事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い一時休館・休止措置を講じた公共施設について、施設を再開するための感染拡大防止対策支援として支援金を支給しました。

対象施設 9施設 事業費 93,682千円

・指定管理業務継続補助事業

新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けている指定管理者に対し経済的支援を行うため、補助金を支給しました。

対象施設 3施設 事業費 1,577千円

11. 地方創生臨時交付金事業（企画課）(P. 74) 93,470千円

・高等教育機関就学生支援制度助成金（家賃補助）

恵庭市に立地する高等教育機関に在籍し、アパートや寮で単身生活等をする学生に対して家賃の助成を行いました。

助成額 家賃または寮費の1/2（上限2万円）×3か月

助成対象者 1,003人 助成額 57,310千円

・高等教育機関学生応援補助金

ふるさと納税制度を活用して「新型コロナ学生応援事業」として募った寄附金を財源として、市内高等教育機関に対して補助金を交付しました。補助金は各校において、オンライン授業に係る準備費用としての学生への給付金や、Wi-Fi設置費、保健衛生用品配備費等に活用されました。

補助金交付額（寄附額） 36,160千円

12. 地方創生臨時交付金事業（保健課）(P. 74) 64,760千円

・新生児臨時給付金給付事業

新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けながら不安な妊娠期を過ごし出産した子どもを育てる父または母への経済支援と子どもの健やかな成長を応援し、対象児1人につき10万円を給付しました。

対象者 364人

[定額給付金の基準日以降(令和2年4月28日)～令和3年4月1日に出生した児]

申請数 364人(申請率100%) 給付金 36,400千円

・二次救急医療臨時助成事業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、感染リスクがある厳しい環境の下で、感染症を疑う救急患者の対応にあたっている二次救急医療機関に対して、救急搬送人数に応じた支援を実施しました。

助成対象 二次救急医療機関(恵み野病院、恵庭第一病院、えにわ病院)

交付額 市民の救急搬送者1名につき7千円

二次救急医療機関名	人数	支援額
恵み野病院	492	3,444千円
恵庭第一病院	148	1,036千円
えにわ病院	54	378千円
計	694	4,858千円

・医療機関感染対策支援金

新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、医療機関において个人防护服等が国内でも不足する中で、医療提供体制を確保するとともに医療従事者等の感染を防ぐため、必要となる医療用物資等のかかり増し費用の助成を行いました。

助成対象 令和2年5月25日時点で恵庭市内にて開設している病院、一般診療所、歯科医院、薬局、助産所

交付額

対象		決算	施設数
病院	二次救急医療機関	900千円	3
	有床	800千円	4
一般診療所	有床	200千円	1
	無床	2,600千円	26
歯科医院		3,700千円	37
薬局		1,400千円	28
助産所		100千円	2
計		9,700千円	101

・年末年始在宅当番医増額助成事業

新型コロナウイルス感染拡大により、年末年始において感染の疑いがある方が受診することで、院内感染リスクが高まることから、発熱患者の別室対応や、医師、看護師の人員配置などの負担に対し、委託料を増額しました。

対象機関 恵み野病院、恵庭第一病院、えにわ病院、恵庭南病院

支給総額 1,800千円 年末年始(6日間)

・小中学生及び妊婦の季節性インフルエンザ予防接種助成事業

新型コロナウイルス感染拡大により市内小中学校では、長期に渡る臨時休校となり、著しく学習の機会が失われたことから、例年流行している季節性インフルエンザにより、これ以上学習機会が失われない予防策として、小中学生を対象に季節性インフルエンザ予防接種費用の助成を行いました。

妊婦について、肺炎にかかった場合に重症化する恐れがあることから助成を実施しました。

実績

	小学生1回目	小学生2回目	中学生1回目	中学生2回目	妊婦
対象者	3,779	3,779	2,005	2,005	449
接種回数	1,649	1,124	691	26	103
接種率	43.6%	29.7%	34.5%	1.3%	22.9%

13. 地方創生臨時交付金事業（子ども家庭課）（P.74） 1, 194千円

・乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業

例年5月中旬に乳幼児がいる世帯に対して配布している紙おむつ用のごみ袋を、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため各家庭へ郵送によりごみ袋を配布しました。

・民間学童クラブ支援補助金事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う小学校の臨時休校期間中に午前から開設して受入対応をした民間学童クラブに補助金を支給しました。

補助先（学法）リズム学園 放課後スクールONESTEP

14. 学童クラブ等感染予防対策事業（P.74～75） 14, 871千円

新型コロナウイルス感染症対策用の消耗品等対策用品を購入したほか、臨時休校期間中に登会を自粛した世帯に対し、保護者負担の支援金を支給しました。

また、学童クラブにおける感染拡大を予防するため、勤務する支援員等の情報共有をオンラインで行うことができるようICT機器の導入、環境整備のためにエアコンを4学童に設置しました。

15. 教育・保育施設等感染予防対策事業（P.75） 21, 071千円

公立保育園、子育て支援センターの新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等の消耗品購入、換気機能付きエアコンの設置を行いました。

また、市内の幼稚園、保育園、認定こども園等を行う事業者に対して感染症対策のための補助金の支出を行いました。

16. 学校感染予防対策事業（P.75） 41, 228千円

各学校が感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習機会を保障するため、感染症対策のためにハンドソープや消毒液、使い捨て手袋等消耗品や、サーキュレーター、空気清浄機等備品の整備を進めました。また、修学旅行等のキャンセル料について手数料の負担を行いました。

※一部令和3年度予算へ明許繰越 15,600千円

17. GIGAスクール推進事業（P.75） 290, 879千円

「高速大容量の通信ネットワーク」、「児童生徒1人1台端末」、「家庭との通信環境整備」など、ハード・ソフト・人材を一体とした整備を行う『GIGAスクール構想』において、コロナ禍の影響により子供たちの学びを保証できる環境実現の加速化が必要となり、令和2年度から事業に着手しました。

対象施設 市内小中学校13校

事業内容 タブレットパソコン3,888台 家庭学習通信機器WiFiルーター400台

Webカメラ65台 マイクヘッドセット78台 LAN設置工事

GIGAスクールサポーター配置

※一部令和3年度予算へ明許繰越 217,691千円

18. 学校給食臨時休業対策事業（P.75） 6, 381千円

学校の臨時休校によりキャンセルされた食材等に係る経費について、給食再開後の円滑な給食提供が可能となるように納入事業者に対して補填を行ったほか、既に納入済の食材について保護者負担が発生しないように給食食材費の負担を行いました。また、給食再開後の円滑な給食提供のため調理員の雇用確保をするために休業手当金の補助を行いました。

19. ひとり親世帯臨時特別給付事業 (P.75~76) 99,309千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため児童扶養手当等を受給する世帯等に対し臨時特別給付金を支給しました。第1弾では児童扶養手当等受給世帯のうち、収入が減少した世帯には追加給付を行いました。(国事業)

給付額

第1弾 基本給付 1世帯5万円第2子以降1人3万円 684世帯44,910千円

追加給付 1世帯5万円 128世帯6,400千円

第2弾 基本給付 1世帯5万円第2子以降1人3万円 683世帯44,830千円

20. 高度無線環境整備事業 令和3年度予算へ明許繰越

農業関係団体の要望や、教育及び産業の高度化、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「新たな日常」に必要な情報通信基盤の整備のため、国の補助事業である高度無線環境整備推進事業を活用し、民設民営により光ファイバー未整備地域の解消を図る予定となっております。

※令和3年度予算へ明許繰越 142,323千円

21. PCR検査センター事業 (P.76) 3,203千円

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、千歳保健所管内でのPCR検査が増加していることから、速やかな検査を実施できるよう、北海道から委託を受けてPCR検査センターを設置し、地域医療体制の確保と感染拡大防止を図りました。

対象者 陽性患者の濃厚接触者に特定された者(千歳保健所等から依頼)

実施方法 唾液採取検査(ドライブスルー方式)

実績 開設日数 41日(令和2年12月17日開設)、検査件数 553件

22. 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (P.76) 13,153千円

新型コロナウイルスワクチンの接種が迅速かつ円滑に開始できるよう準備を進めるため、体制整備やシステム改修、印刷郵送準備、相談体制構築などを実施しました。

事業内容 コールセンター等業務委託、事前準備にかかる事務費

※一部令和3年度予算へ明許繰越 99,364千円

23. 地方創生臨時交付金事業(介護福祉課)(P.76~77) 17,993千円

・医療従事者等PCR検査事業

医療機関、介護施設等における新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、従事者の不安解消を目的として、従事者や新規で介護施設等に入所する高齢者を対象にPCR検査キットの配布を行いました。

配布対象事業所数 283事業所

24. 生活困窮者自立支援事業 (P.85~86) 5,566千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業等に伴う収入減少により、住居を失うおそれが生じている方へ、現行の住居確保給付金の制度を拡大し、困窮する世帯に家賃の補助及び就労支援を行うことで対象者の自立支援を行いました。

実績 34件

25. 地域支えあい・地域づくり事業費 (P.227) 1, 287千円

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う外出自粛により、高齢者の体力低下防止対策として、自宅で介護予防体操に取り組むことができる環境を整備しました。

主な内容

FM「e-niwa」による「百歳体操」の定期放送、恵庭市オリジナル「百歳体操」DVDを希望する市民や関係機関に配布